

日吉っ子

ボランティア通信

令和6年6月24日 日吉小・中学校区地域学校協働本部発行

★「一人一研究の活動の様子」★

今年度も、中学校の「一人一研究」が始動しました。中学生が、小学校で学んだ郷土学を生かし、自分が興味を持ったテーマで研究を進めていきます。早速、地域の方に協力していただいたグループがありましたので、活動の様子を一部紹介します。



「日吉防災研究所」

鬼北町危機管理課の職員を講師にお招きし、日吉地区の避難経路や危険箇所についての講話をしていただきました。

「日吉植物図鑑」

上鍵山にお住まいの方の御自宅を訪れて、周辺にある山を探索し、自生している植物の調べ学習などをしました。

★「森林教室」★

5月20日(月)に、小学3・4年生が「森林教室」を実施しました。(株)日吉農林公社の職員を講師にお招きし、1年を通して森林に関する学習を行います。第1回目は、「林業の大切さ」について教えていただきました。「林業」という職業が、山の災害から私たちの住んでいる町を守るために存在していることや、仕事内容を重点的に学習しました。その奥深い内容に、驚きの声を上げる児童もいました。他には、6種類の木材やチェーンソーに実際に触れさせていただき、盛りだくさんの内容の学習となりました。

次回は、現場を見学する予定です。実際に作業の様子を見ることで、得られる気づきが多くあるのではないかと思います。様々な視点から「森林」に関する学習を深め、児童たちが「森林」を身近に感じられるものにしたいと思います。

今後ともよろしくお願いいたします。



★「武左衛門一揆について」★

5月29日(水)に、下鍵山にお住まいの有識者の御案内で、小学3～6年生が武左衛門一揆記念館を訪れました。3年生が今年度から「武左衛門太鼓」を演奏することと、5・6年生が今年度の郷土学で「武左衛門」について学習することの導入段階として、「武左衛門一揆」について学びました。

入館すると、武左衛門一揆に関する資料や、当時の百姓が使っていたとされる農具を再現したものが置かれていました。百姓一揆を決行するに至った背景に、当時の百姓が食うや食わずの生活を強いられていたことや、百姓一揆は成功したが、指導者の武左衛門は処刑されたことなどを説明していただきました。この学習を皮切りに、今後の太鼓の演奏や郷土学の充実に努めたいです。



★「ペタンクマイスター」★

5月31日(金)に、父野川にあるペタンクハウスで、小学1・2年生が郷土学「ペタンクマイスター」を実施しました。日吉ペタンク協会の皆さんに、日吉地区でペタンクの活動が普及した経緯や、ペタンクの技やルールなどを教えていただきました。その後、児童たちが2チームに分かれて、実際にゲームをしました。最初は、ゲームの進め方が分からず戸惑っていた児童たちでしたが、次第にルールや作戦を理解し、大量得点を許さない、互角の好ゲームを見せてくれました。その結果、女子児童チームが勝利を収めました。

今回は、児童たち同士の対戦でしたので、次回は、日吉ペタンク協会の皆さんとも一戦を交えたいです。ペタンクの面白さや楽しさを満喫した学習になりました。



★中学校生徒会からのお知らせ★

中学校では、生徒会活動の一環として、アルミ缶を回収しています。御家庭に不要なアルミ缶がありましたら、日吉中学校までお持ちください。よろしくお願いいたします。